

時制：基本

このスライドでは、
論文でよく使用する
現在形、現在進行形、過去形、
現在完了形、現在完了進行形
の使い分けの基本を扱います。

(※ このスライドでは、アカデミックライティングで特に重要な点のみを扱います。)

現在形

- 現在にも過去にも未来にも当てはまる、時間と共に変化しないと思われる事実を述べるときに使用

現在進行形

- 出来事や動作や行為が現在起きている又は行われていることを述べるとき、また現在背景で進行中であることを示すときに使用
- 現在の一時的な状態を述べるときに使用

過去形

- 出来事や動作や行為が過去のある時点/期間に起きた又は行われたことを述べるときに使用
- 過去のある時点/期間の状態を述べるときに使用

現在完了形

- 出来事や動作や行為が過去のある特定されていない時点/期間に起き又は行われて、その事が現在の状況に何か影響を与えていることを示すときに使用
- ある状態が過去のある時点から始まり、現在まで続いた又は現在も続いていることを示すときに使用

現在完了進行形

- 出来事や動作や行為が過去のある時点から始まり、現在まで続いた又は現在も続いていることを示すときに使用。続いた又は続いている事により生じる結果よりも、続いた又は続いている事自体を強調したいときに使用

現在形

例1

Plants absorb carbon dioxide.

- 「植物は二酸化炭素を吸収する」ということは、今も過去も未来も変わらないと思われる事なので、現在形を使用する。

例2

Obesity is a risk factor for many diseases.

- 「肥満は多くの病気の危険因子である」ということは、今も過去も未来も変わらないと思われる事なので、現在形を使用する。

比べてみよう: 現在形と現在完了形

例3

(i) 現在形

Implementing this policy is difficult.

- 「この政策を実行することは難しい」というのが今も過去も未来も変わらない事だと考えられる場合 ⇒ 現在形を使用

(ii) 現在完了形

Implementing this policy has been difficult.

- 「この政策を実行することは難しい」というのが過去と現在の状況の説明であるが、将来的にはどうなるか分からない場合 ⇒ 現在完了形を使用

比べてみよう: 現在進行形、過去形、現在完了形、現在完了進行形

例4

(i) 現在進行形

The number of students entering higher education is increasing worldwide.

- 現在、高等教育機関への進学者数が増加していることを示している。
- 注意: 現在形は過去も今も未来も変わらないと思われる事実を述べるときに使用するため、The number of students entering higher education increases worldwide. とすると、過去も今も未来も高等教育機関への進学者数は増加する、という意味になる。
⇒ このように、現在何かが起きている、と述べるときは通常、現在進行形を用いる。ただし、例外もある(次ページ参照)。

※例外:

know(～を知っている)、believe(～を信じている)、live(～に住んでいる)など、単語自体に「～している」(進行中だ)という意味が含まれる単語を使用するときは、進行中である、ということを示す必要がないので、通常は進行形は使用しない。

このような単語には「進行形不可」のものと、現在の一時的な状態であることを示すときには進行形で使用できるものがある。

- 例えば、know は進行形不可で進行形で使用することはない。
「(現在)知っている」は know、「(過去に)知っていた」は knew となる。
参考:「知らない状態」から「知っている状態」に変化すること、日本語の「知る」という意味を表現したいときは know ではなく、learn や become aware や gain knowledge などの表現を用いる。
- live は現在の一時的な状態であることを示すときには進行形で使用できる単語である。例えば、I am living in Mitaka. とした場合、「今後のことは分からないが、私は現在は三鷹に住んでいる」というニュアンスになる。

(ii) 過去形

The number of students entering higher education increased worldwide.

- 過去に高等教育機関への進学者数が増加した事を示している。
- 「過去に増加した」という事実のみを述べており、その事が現在の状況に何か影響を与えているかどうかは示していない。
- 増加した期間が明確に特定されている場合は過去形を使用する。
例 The number of students entering higher education increased worldwide in 2013.
例 The number of students entering higher education increased worldwide from 2010 to 2015.

(iii) 現在完了形

The number of students entering higher education has increased worldwide.

- 過去のある時点から現在までの間に高等教育機関への進学者数が増加し、その事が現在の状況に何か影響を与えている事を示している。(現在も増加し続けているのか現在はもう増加していないのかは示していないが、現在までの間に増加したことが現在の状況に何か影響を与えていることを示している。)
- 増加したことによる結果を示したい文脈で使用する。

(iv) 現在完了進行形

The number of students entering higher education has been increasing worldwide.

- 高等教育機関への進学者数が過去のある時点から増加し現在も増加し続けている事を示している。
- 増加が過去から現在まで「続いている」ことに言及したい文脈で使用する。

それでは次に、こちらのスライドで
論文での時制をみていきましょう。